

これから海外に行くあなたに…

異文化トレーニング

異文化コミュニケーション能力



トレーナー：大久保正美

2年間の韓国留学

5年半のオーストラリア勤務

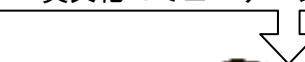
26カ国訪問

15カ国以上の人々と生活

多数の国際交流プログラム参加・運営

現在、立教大学院

異文化コミュニケーション研究科 在学中



異文化トレーニングとは？

ワークショップ形式（体験参加型学習）で、「異文化理解」「異文化コミュニケーション」を学びます。

7月29日（水）、31日（金）に開催

時間：13:00～17:30

場所：立教大学内

（教室番号は後日連絡します）

（2日間の参加が望ましいが、どちらか1日だけの参加も対応可。）

参加費 無料

関心のある方、参加を希望する方、
下記の内容を記載の上、メールして下さい。

あなたの名前、学部、
渡航（留学）先、出発日、期間

masami@rikkyo.ac.jp



| | 29日（水） | 31日（金） |
|---|--|---|
| 1 | 文化・異文化コミュニケーションの概要。 事前準備の必要性を認識する。 | 自己紹介（言語コミュニケーション） 自分の特技・趣味などを初対面の人に伝える準備・訓練。参加メンバーと知り合う。 |
| | 自己紹介（非言語コミュニケーション） 海外での疑似体験。 伝えること・理解することの難しさを知る。 | 参加目的や達成目標の明確化。 共通の目的を持つメンバーとの連帯感を高める。 |
| 2 | 傾聴法（あいづち・繰り返し・質問） 聞き手の態度や質問は、話し手の話す意欲に影響を与えることに気づく。 「質問＝相手への関心」であり、「質問」することにより、コミュニケーション促進に繋がることを知る。 | 外国人から日本人はどう思われているのか知る。 日本の文化や日本人の行動様式、その背景を考える。 |
| 3 | 相手の言動の背景に影響している、文化と個性について考えてみる。相手をステレオタイプ化して、すぐに判断しないようにする。 | 他の国の文化や価値観を考える。 相手の言動には自分の予想とは違う意図・文化背景があるかも知れないことを知る。 多角的な考え方を育てる。 |